



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 株式会社よみうりランド  
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 達雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,905	2.2	1,879	0.4	2,234	13.0	1,375	—
25年3月期第2四半期	8,710	11.1	1,872	51.7	1,976	48.1	△3,264	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,932百万円( —%) 25年3月期第2四半期 △3,913百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.68	—
25年3月期第2四半期	△41.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	50,755	19,037	37.5
25年3月期	48,571	16,498	34.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,037百万円 25年3月期 16,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,136	△4.2	1,940	△34.3	2,678	△19.0	1,597	—	20.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	83,522,024株	25年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,728,627株	25年3月期	5,723,690株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	77,795,441株	25年3月期2Q	77,946,582株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
(役員退職慰労金制度の廃止)	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに景気が回復しつつあり、先行きについても、家計所得や投資の増加傾向が続くことが期待されています。また、当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費は、実質雇用者所得、消費マインドがともに底堅く推移していることを背景に持ち直し傾向にあります。

このような状況の下、当社は、9月に静岡県掛川市のゴルフ場隣接地に、10月に船橋競馬場の馬場内にそれぞれ太陽光発電施設を建設し発電を開始するなど、所有地を効率的に活用し、新たな収益構造の確立と他社施設との差別化を図ってまいりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同様ナイター開催で34日実施されました。重賞競走は6月の「関東オークス」、7月の「スパーキングレディーカップ」などが開催されました。船橋競馬は、前年同様29日開催されました。重賞競走は、5月にビッグレース「かしわ記念」、9月には「日本テレビ盃」が開催されました。かしわ記念開催に合わせ主催した恒例のイベント「おうまフェス2013～親子であそぼ。～」は、ファミリー層から好評を博しました。また、同日、新投票所「アタリーナ」をグランドオープンし、快適に勝馬投票券が購入できる環境を提供いたしました。さらに10月には「J-PLACE 船橋」がオープンし、日曜日に開催しているJRA各競馬場のメインレースの発売を開始しております。船橋オートレースは、前年同期比8日減の33日開催されました。5月には恒例のGI「黒潮杯」、9月にはSG「オートレースグランプリ」が6年ぶりに行われました。なお、4月より入場料が無料となっております。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同期比3日増の183日実施されました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬は前年比1日減、船橋競馬、船橋オートレースは前年と同数となる予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、台風の影響によるクローズがあったものの、入場者は前年並みに推移いたしました。9月には、クラブハウスレストランにて「丘の上JAZZライブ」を開催し、ご好評をいただきました。よみうりゴルフ倶楽部は、数年来強化している外部営業が奏功し、大口コンペの新規獲得や継続利用などにより、入場者は増加いたしました。また、クラブハウスのレストランにて、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携した恒例のディナーイベントを開催し、好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、周辺のゴルフ場に先駆け、コンペでの順位が即時にわかる「リーダーズボード」機能をカートに搭載し、好評を得ました。9月には台風の影響によるクローズがあったものの、入場者数は前年並みに推移いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、集客が困難となる5月の連休最終日に競技会を開催し集客を図ったほか、タイムリーな優待施策などを実施したものの、台風の影響によるクローズなどにより、入場者は減少いたしました。なお、4月に市原鶴舞ICが新規開通したことで、高速道路からのアクセスが向上いたしました。

遊園地部門の遊園地は、桜をテーマにしたイベント「SAKURAKUEN」、全国のご当地グルメを集めたゴールデンウィーク恒例の「全国ご当地グルメ祭2013」を開催いたしました。また、夏期は、清涼飲料水メーカーとコラボレーションした「スプラッシュバンデット」や冷たい麺やかき氷をテーマにした食イベントなどを開催し好評を博しました。さらに9月から10月にかけて5週にわたり週替わりで日本各地の食やお祭り、伝統芸能などを開催する「日本列島まるかじりフェア」を新たに開催し、盛り上がりを見せました。しかしながら、春の天候不良や9月の台風の影響によるクローズ、オープンシアターEASTの閉鎖等により、入場者は減少いたしました。なお、5回目の開催となるほたる鑑賞イベント「ほたるの宵」では、願いを書いた短冊を取り付けてもらう七夕の笹や、三十六歌仙灯籠を設置しイベントを盛り上げました。

プールWAIは、引き続きエンターテイメントプールとして多くのイベントを開催いたしました。人気お笑い芸人がプロデュースした放水ショーとオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンスブラッシュ」、オリジナルのおもちゃのアヒル「ちょいキャップアヒル」を用いたレース大会、夜間のビアガーデン営業など例年人気のイベントにさらに磨きをかけ、好評を博しました。また、夏期としては15年ぶりにテレビCMを放送したことなども奏功し、プールWAIは過去最高だった前年を上回る入場者数を記録いたしました。

温浴施設「丘の湯」は、夏期にプール帰りのお客様が増加したものの、4月の天候不良や9月の台風の影響で入場者は減少いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では遊園地と連携した「天安はたるディナー」や「天安5大美食めぐり」などの新規イベントを開催し好評を博しました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、様々なイベントが好評だったことなどにより、入場者は増加いたしました。20周年を迎えたゴルフガーデン(練習場)は、感謝企画などの施策や、天然芝を活かした練習グリーンでのイベントが好評を博した結果、入場者は増加いたしました。なお、前年10月に新規オープンし1周年を迎えた親子向け屋内遊戯施設「キドキド」は、きめ細やかな顧客サービスや様々なイベントが好評を得たことなどもあり、好調に推移いたしております。

以上の結果、レジャー事業の売上高は77億5千3百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が増加したことなどにより、8億2千6百万円(同15.7%増)、サポートサービス事業の売上高は、連結内部からの受注が減少したことなどに伴い、12億7千7百万円(同7.5%減)となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は89億5百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は18億7千9百万円(同0.4%増)、経常利益は22億3千4百万円(同13.0%増)、四半期純利益は13億7千5百万円(前年同四半期は32億6千4百万円の四半期純損失)となりました。

## (2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、夏のプールWAIが開設以来最高となる入場者を記録したことや、販売用宅地の分譲が予想より増加したこと、整備費の一部を第3四半期以降に繰り越していることなどにより、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初見込みを上回りましたが、通期の業績につきましては、上述の整備費の発生が第3四半期以降に見込まれることや、今後の景気動向や天候等の不確定要因が多いことから、平成25年5月10日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び連結子会社は、平成25年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給額の未払分116,310千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,558,154	3,423,753
受取手形及び売掛金	891,896	935,137
たな卸資産	218,796	203,402
繰延税金資産	167,741	146,365
その他	146,487	281,079
貸倒引当金	△892	△954
流動資産合計	5,982,185	4,988,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,306,613	17,009,554
土地	14,180,378	14,183,719
建設仮勘定	556,232	1,392,512
その他(純額)	912,464	1,146,161
有形固定資産合計	32,955,688	33,731,947
無形固定資産		
その他	97,524	98,355
無形固定資産合計	97,524	98,355
投資その他の資産		
投資有価証券	9,151,210	11,568,064
繰延税金資産	171,887	169,506
その他	212,718	199,222
投資その他の資産合計	9,535,816	11,936,792
固定資産合計	42,589,030	45,767,095
資産合計	48,571,215	50,755,879
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	499,380	370,537
短期借入金	970,000	970,000
1年内返済予定の長期借入金	1,325,800	955,400
未払法人税等	777,020	666,854
賞与引当金	123,617	123,321
その他	2,622,541	2,432,136
流動負債合計	6,318,360	5,518,249
固定負債		
長期借入金	433,000	40,000
繰延税金負債	1,048,437	2,025,714
退職給付引当金	578,845	586,608
役員退職慰労引当金	116,055	—
長期預り金	23,232,401	23,093,081
その他	345,770	455,217
固定負債合計	25,754,509	26,200,622
負債合計	32,072,870	31,718,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,552	4,730,552
利益剰余金	5,438,417	6,425,053
自己株式	△1,910,998	△1,915,424
株主資本合計	14,311,001	15,293,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,187,343	3,743,795
その他の包括利益累計額合計	2,187,343	3,743,795
純資産合計	16,498,345	19,037,007
負債純資産合計	48,571,215	50,755,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,710,276	8,905,076
売上原価	5,993,071	6,209,917
売上総利益	2,717,205	2,695,158
販売費及び一般管理費	844,880	815,394
営業利益	1,872,325	1,879,763
営業外収益		
受取利息	470	324
受取配当金	117,570	121,204
建設発生土受入金	—	229,801
その他	18,856	18,703
営業外収益合計	136,897	370,033
営業外費用		
支払利息	32,076	12,822
その他	328	2,431
営業外費用合計	32,405	15,254
経常利益	1,976,817	2,234,543
特別利益		
固定資産売却益	1,318	—
特別利益合計	1,318	—
特別損失		
固定資産除却損	121,204	66,342
災害による損失	4,815	—
減損損失	4,172,408	—
特別損失合計	4,298,427	66,342
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,320,291	2,168,201
法人税、住民税及び事業税	724,753	651,941
法人税等調整額	219,182	140,633
法人税等合計	943,935	792,574
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,264,226	1,375,627
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,264,226	1,375,627

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,264,226	1,375,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△648,850	1,556,451
その他の包括利益合計	△648,850	1,556,451
四半期包括利益	△3,913,077	2,932,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,913,077	2,932,079
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,677,296	712,984	319,994	8,710,276	—	8,710,276
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,955	1,380	1,061,828	1,069,164	△1,069,164	—
計	7,683,252	714,364	1,381,823	9,779,440	△1,069,164	8,710,276
セグメント利益	2,130,709	403,742	99,262	2,633,714	△761,389	1,872,325

(注) 1. セグメント利益の調整額△761,389千円には、セグメント間取引消去△125千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△761,263千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合レジャー事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては4,148,929千円であります。なお、報告セグメントに帰属しない全社資産についての減損損失計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23,478千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,748,029	825,266	331,779	8,905,076	—	8,905,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,291	1,110	945,931	952,333	△952,333	—
計	7,753,321	826,376	1,277,711	9,857,409	△952,333	8,905,076
セグメント利益	2,037,496	509,102	61,548	2,608,147	△728,383	1,879,763

- (注) 1. セグメント利益の調整額△728,383千円には、セグメント間取引消去2,380千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△730,764千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。